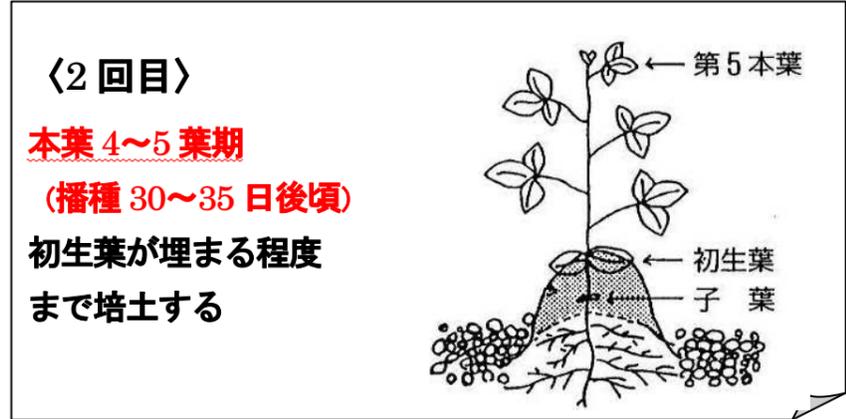


～ 収量向上により、数量払交付金でしっかり所得を確保しましょう ～

- 「適期に確実な培土」で雑草抑制と収量アップ！！
- 培土後は「排水溝の再点検」で初期生育を確保しましょう。

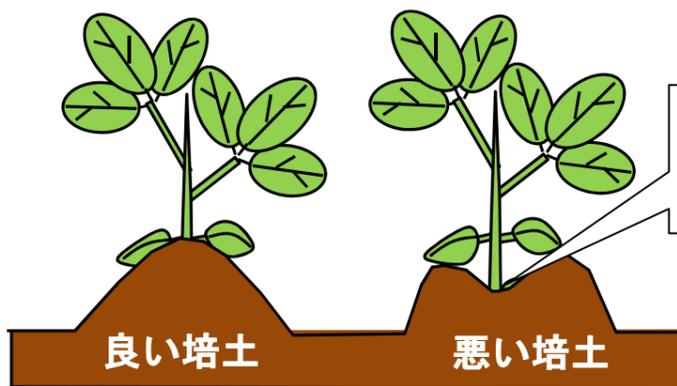
1. 培土 ～1回目は遅れずに、2回目は確実にいきましょう～

○培土は大豆の収量・品質を大きく左右するので、晴れ間を見て確実に実施しましょう。



【培土作業と排水対策のポイント】

- ◆ 作業の前に培土板の調節や耕うん爪の点検（すり減った爪は交換）を行きましょう。
- ◆ 乾いたほ場から作業を行い、株元までしっかり土を寄せましょう。
- ◆ 培土でできた溝はその日のうちに額縁排水溝や排水口にしっかり連結し、排水が速やかに行えるようにしましょう。



これでは新根が伸びず、株間の雑草が残る！



2. 除草 ～雑草の種類に応じて除草剤を散布しましょう～

	薬剤名	適用雑草	10aあたり散布量	使用方法	使用時期	使用回数
生育期間中	ポルトフロアブル	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	薬量 200～300mℓ (水100ℓ で希釈)	雑草茎葉散布	雑草生育期(イネ科雑草 3～10 葉期) ただし収穫 30 日前まで	1回
			薬量 100～150mℓ (水100ℓ で希釈)	雑草茎葉散布	大豆 2 葉期～開花前まで(雑草 6 葉期まで) ただし収穫 45 日前まで	1回
	大豆バサグラン液剤	一年生広葉雑草	薬量 300～500mℓ (水100ℓ で希釈)	畦間雑草茎葉散布	大豆の生育期(雑草 6 葉期まで) ただし収穫 45 日前まで	

※使用方法によっては、薬害が出る除草剤もありますので、注意書きをよく読んで適切に散布してください。

※大豆バサグランは薬害を軽減し、効果を高めるために吊り下げノズルを使用しましょう。

※帰化アサガオ類の発生が見られたら早めに抜き取りましょう。抜き取った株は、そのまま放置せず圃場外で適切に処分しましょう。